

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 2年12月22日
住 所 さいたま市北区吉野町1-390-38
県内企業等の名称 合同会社I.C.G
代 表 者 氏 名 代表社員 宮本博史

合同会社I.C.G はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

飲食店に対するコンサルティングを通じて、SDGsへの関心と興味を持ってもらい、店舗での取り組みにつなげていく。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、事業活動に誠実に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	店舗から日々排出されるプラスチックごみを10%削減する取り組みに協力頂けるクライアント(店舗)を増やす。 具体的な施策として、 ・プラスチックストローから紙のストローもしくは木製のストローへの切り替えなど 【2020年度実績】0店舗	<2030年に向けた指標> 協力いただける店舗を50店舗にする <取組開始3年後に向けた指標> 協力いただける店舗を10店舗にする
社会	売上の一部をNPO団体を通しフィリピンの貧困層への支援活動に充てている。 2020年度実績 10,000円(フィリピンミンダナオ島へお米を送る活動に寄付) ※飲食店向けサービスの売上0.1%を寄付金としています。	<2030年に向けた指標> 寄付金額100,000円目標(対象事業の売上1億円) <取組開始3年後に向けた指標> 寄付金額 30,000円目標
経済	店舗から排出される”食品ロス”の削減に取り組む飲食店を増やす活動 ・厨房内で出る食品ロス削減の為に従業員の意識改革が必要である。食品ロスの現状を伝える掲示物を厨房内などに掲示する。・お客様の食べ残しを出来る限りなくす。※食べ残しをお持ち帰りいただけるようにするなど 【2020年度実績】0店舗	<2030年に向けた指標> 左記の活動に賛同頂ける店舗を50店舗にする <取組開始3年後に向けた指標> 左記の活動に賛同頂ける店舗を10店舗にする

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。